

疾病対策課

V 疾病対策課の業務概要

疾病対策課は、結核予防事業、感染症予防事業、エイズ対策事業、原爆被爆者対策事業等を主業務としている。また、感染症健康危機管理事業として、訓練や会議を通じて地域の健康危機管理体制の整備、連携強化を図っている。

1 結核予防事業

平成30年の患者の発生動向は、新登録患者数が65人（前年74人）（菌塗抹陽性患者の占める割合は46.2%（前年41.3%）と増加し、登録者総数は166人（前年193人）、罹患率は9.8（前年11.4）（人口10万対）、有病率は7.9（前年7.5）（人口10万対）となり、前年より減少している。

患者支援においては、個別に治療完遂を目指した患者支援計画を立て、保健師等による家庭訪問や電話などによるDOTS（直接服薬確認療法）を実施している。また、管内に所在する結核専門医療機関との医療看護連携会議を定期的に行い、患者の治療及び支援等の情報共有により効果的な支援を目指した。

また、コホート検討会により治療成績の評価及び支援対策を検討するなど質の高い支援に努めた。

蔓延防止対策として実施している接触者健康診断の実施状況は、家族健診受診率、91.8%（前年95.7%）、接触者健診受診率97.0%（前年96.5%）となっている。

2 感染症予防事業

平成30年は、感染症法に基づく1類・2類（結核は除く）の発生はなかった。3類感染症は16件（前年21件）、4類感染症は18件（前年20件）、5類感染症（全数把握対象疾患）は186件（前年85件）であった。

衛生研究所への検査依頼は、蚊媒介感染症2件、麻しん36件（うち2件陽性）、風しん86件（うち37件陽性）と計124件であった。平成29年度は、鳥インフルエンザ1件、蚊媒介感染症5件、麻しん3件と計9件の検査であったが、平成30年度は、13.7倍の増加であり、調査・検体回収・搬送業務がかなり増大したが、迅速な対応に努めた。麻しん陽性2件については、タイムリーに対応し、拡大を防止した。

学校・社会福祉施設等での集団発生対応件数として感染性胃腸炎は26件（前年11件）、インフルエンザ53件であった。保健所の介入により感染拡大防止に適切な対応が図られるよう努めた。また、社会福祉施設等の職員を対象に、感染症対策の正しい知識と技術の習得を図ることを目的とした感染症予防対策研修会を開催した。

平常時からの対策として、感染症発生状況・注意喚起、法改正の情報等を迅速に提供し、地域の感染症蔓延予防に寄与するため、感染症情報「いちうら」を毎週発行し関係機関へ配信するとともにホームページへの掲載を行った。

感染症危機管理事業としては、事案の発生予防及び拡大防止のために、市川健康福祉センター（保健所）地域健康危機管理推進会議等を通じて関係機関との連携を図るとともに、健康危機管理体制の整備と拡充を行っている。また、新型インフルエンザ等の感染症発生時に迅速に対応できることを目的とし、講演会の開催及び関係者による合同模擬訓練を実施する他、健康福祉センター全職員を対象とした個人防護具の着脱訓練等を行っている。

3 エイズ予防対策事業

管内の中学校や高等学校の生徒、教職員を対象とした講演会を開催する他、リーフレット等の配布により正しい知識の普及・啓発を図った。

平成30年度のH I V抗体検査は、即日検査（月2回）及び夜間検査（月1回）を行い、343件（前年339件）の検査を実施し、感染者の早期発見に努めた。また、エイズ相談（来所・電話）は、相談内容に応じた対応を行い、正しい知識の伝達に努めた。

性感染症及びB型肝炎、C型肝炎の検査は、H I V抗体検査と同時に実施し、感染者の早期発見に努め、また、千葉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業（平成27年10月1日開始）により、県や市が行う検査の肝炎検査陽性者に対し受診勧奨を行うとともにフォローアップにつなげている。

4 原発被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、被爆者手帳交付者に対し各種手当を支給し、被爆者の定期健康診断を年2回実施した。

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移

(単位：人)

区分		年						
		平成 16年	平成 21年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年
管内人口		616,028	639,928	635,505	645,578	652,364	651,825	662,202
新登録患者数		130	116	100	100	84	74	65
年末時登録者数		340	311	241	229	215	193	166
結核死亡者数	管内	2	4	5	5	9	3	3
	千葉県	78	62	83	68	71	75	82
結核死亡率 (人口10万対)	管内	0.3	0.6	0.8	0.8	1.4	0.5	0.5
	千葉県	1.5	1.2	1.6	1.3	1.3	1.4	1.6
罹患率 (人口10万対)	管内	21.1	18.1	15.7	15.5	12.9	11.4	9.8
	千葉県	21.4	17.2	13.8	13.7	14.2	11.9	12.0
有病率 (人口10万対)	管内	20.5	13.4	9.9	9.6	7.5	7.5	7.9
	千葉県	18.9	11.9	8.8	9.0	9.1	7.3	7.7

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10万 /人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万 /人口

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

区分 年 市町村	総 数	活 動 性 結 核					肺 活 外 動 結 核 性	(罹 人 口 10 患 万 対) 率	占 塗 肺 め る 抹 結 割 合 陽 核 (%) 性 の の ち	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症)	疑 似 症 患 者	の 結 核 死 亡 体 者	の 結 核 死 亡 疑 い 者
		計	陽 咳 結 核 痰 塗 菌 陽 性 抹 性		そ の 他 の 陽 性	そ の 他 の 陰 性							
			(別掲)										
平成28年	84	72	30	29	13	12	12.9	41.7	36	-	1	-	
平成29年	74	62	26	26	10	12	11.4	41.9	33	-	1	-	
平成30年	65	52	24	22	6	13	9.8	46.2	31	-	-	-	
市川市	58	47	22	19	6	11	11.8	46.8	28	-	-	-	
浦安市	7	5	2	3	-	2	4.1	40.0	3	-	-	-	

(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

表1-(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位：人)

区分 年 市町村	総 数	活 動 性 結 核						肺 活 外 動 結 核 性	不 活 動 性 結 核	不 明	(有 人 口 10 病 万 対) 率	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症) (別 掲)	
		計	計	陽 咳 登 録 痰 塗 性 抹 時	結 核 の 他 菌 陽 性 の 時	そ の 他 菌 陰 性 の 時	そ の 他 菌 陰 性 の 時						
												治 療 中	観 察 中
平成28年	215	40	30	15	6	9	9	143	23	7.5	25	2	
平成29年	193	42	42	17	19	6	7	115	29	7.5	16	10	
平成30年	166	52	40	19	15	6	12	78	36	7.9	21	20	
市川市	144	47	37	18	13	6	10	63	34	9.5	20	17	
浦安市	22	5	3	1	2	-	2	15	2	3.0	1	3	

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表1-(4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成28年		84	1	2	8	14	10	13	13	15	6	2
平成29年		74	-	1	12	8	10	8	9	16	9	1
平成30年		65	-	-	7	7	8	12	5	11	13	2
市川市		58	-	-	7	5	8	12	5	10	9	2
浦安市		7	-	-	-	2	-	-	-	1	4	-

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表1-(5) 年末時登録者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成28年		215	1	4	25	32	32	32	33	33	18	5
平成29年		193	-	1	30	25	33	26	31	31	13	3
平成30年		166	-	-	21	23	22	30	18	28	19	5
市川市		143	-	-	18	21	19	28	14	26	13	4
浦安市		23	-	-	3	2	3	2	4	2	6	1

(6) 患者面接実施状況

表1- (6) 患者面接実施状況

年		区分	人数 (人)	DOTS 内容 (延件数)											
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性			潜在性結核		
				入院時			退院後			訪問面接	所内面接	電話・その他	訪問面接	所内面接	電話・その他
				訪問回数	左の内訳		訪問面接	所内面接	電話・その他						
初回	期間内	退院前													
平成28年	保健師	3	82	36	36	10	87	97	73	16	129	174	69	38	91
	DOTS 支援員	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成29年	保健師	3	63	23	36	4	62	57	246	75	75	250	52	51	126
	DOTS 支援員	1	-	-	-	-	-	-	10	-	1	6	-	-	-
平成30年	保健師	3	76	31	34	11	68	100	909	39	116	890	52	65	582
	DOTS 支援員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成30年	患者数 (人)		39						48			42			

(7) DOTS実施状況

表1- (7) DOTS実施状況

(単位：人)

年		区分	全 結 核 患 者			潜在性結核 感 染 症
				肺 結 核 患 者 (再 掲)		
				肺 結 核 喀 痰 塗 抹 陽 性 患 者 (再 掲)		
平成28年	実施者数	131	92	39	33	
	患者数※	134	95	39	33	
平成29年	実施者数	82	70	31	41	
	患者数※	82	70	31	41	
平成30年	実施者数	60	51	18	30	
	患者数※	62	53	18	31	

※前年の新登録患者数（転入者を含み，治療開始1カ月未満に死亡した者及び転出者を除く）。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について（情報提供）」を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1-(8)-ア 家族健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ② / ① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成28年	104	104	100	130	79	10	81	-	-	123	2	5	-	-
平成29年	70	67	95.7	104	52	1	47	2	2	97	2	5	-	-
平成30年	49	45	91.8	68	33	1	34	-	-	33	7	3	2	4.4
保健所	/			36	14	-	22	-	-	/				
委託分				26	13	1	12	-	-					
その他				6	6	-	-	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

イ 接触者健診実施状況

表1-(8)-イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ② / ① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成28年	925	886	95.8	973	815	18	258	1	1	945	3	23	2	0.2
平成29年	832	803	96.5	974	756	8	210	-	-	941	5	27	1	0.1
平成30年	593	575	97.0	688	546	7	135	-	-	523	12	27	-	0.0
保健所	/			504	437	-	67	-	-	/				
委託分				136	109	7	20	-	-					
その他				48	-	-	48	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

(9) 管理健診実施状況

表1-(9) 管理健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果(実人数)			
						塗抹	培養	観察不要	経過観察	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
平成28年	296	276	93.2	456	456	12	12	48	228	-	-
平成29年	212	200	94.3	397	343	35	19	79	318	-	-
平成30年	187	168	89.8	356	287	37	32	62	106	-	-
保健所	/			34	34	-	-	/			
委託分				102	62	20	20				
その他				220	191	17	12				

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位:件)

区分 年	総数			被用者保険						国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
				本人		家族		国民健康		保	後期高齢者		生活保護法	その他							
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
平成28年	172	168	4	51	50	1	12	12	-	71	69	2	23	23	-	15	14	1	-	-	-
平成29年	158	155	3	62	60	2	6	6	-	46	46	-	31	30	1	12	12	-	1	1	-
平成30年	157	152	5	51	51	-	8	8	-	45	43	2	33	32	1	18	16	2	2	2	-

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位:件)

区分 年	総数	被用者保険		国民健康保険		後期高齢者	生活保護法	その他
		本人	家族	保	険			
平成28年	46	11	-	15	14	5	1	
平成29年	30	5	-	8	10	7	-	
平成30年	26	8	1	7	6	4	-	

※本表は実人数で計上

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位: 件)

年 \ 区分	総数
平成 28 年	40
平成 29 年	32
平成 30 年	26

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位: 件)

年 \ 区分	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長勧告通知数 (20条第4項)
平成 28 年	40	38	65
平成 29 年	32	32	62
平成 30 年	26	26	42

表1-(11)-ウ 入院措置数

(単位: 件)

年 \ 区分	入院措置数
平成 28 年	-
平成 29 年	-
平成 30 年	-

(12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況

(単位：件)

年	ツ反検査数(延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm未満	30mm以上	未就学児	小学生	その他
平成28年	10	16	9	16	1	23	3	-
平成29年	-	9	-	9	-	9	-	-
平成30年	-	8	1	7	-	8	-	-

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況 (単位：件)

年	IGRA検査数(延件数)		結果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可
平成28年	654	233	808	41	36	2
平成29年	232	573	742	24	38	1
平成30年	513	161	618	14	42	-

(13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況

(単位：件)

年	総数		接触者		管理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成28年	312	188	230	113	82	75
平成29年	186	116	137	55	49	61
平成30年	123	94	89	32	34	62

(14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1-(14) 定期結核健康診断実施報告状況

(単位：人)

年 区分	項目			間 接 撮 影 件 数	直 接 撮 影 件 数	喀 痰 検 査 件 数	発 病 の お そ れ が あ る 者 の 数	患 者 発 見 数 ③	患 者 発 見 率 ③/② (%)	
	対 象 者 数 ①	健 診 者 数 ②	健 診 率 ②/① (%)							
平成28年	161,870	87,928	54.3	10,033	77,895	266	2	5	0.005	
平成29年	158,308	83,738	52.9	4,824	78,904	17	-	4	0.005	
平成30年	163,379	86,530	53.0	2,955	81,704	9	1	2	0.002	
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)		13,900	13,533	97.4	864	11,059	-	-	-
	施 設 長	福祉施設入所者 (65歳以上)	1,278	1,272	99.5	495	777	1	-	-
		その他施設 入所者	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業者		16,837	16,117	95.7	1,596	14,260	8	1	-
	市町村長		131,364	55,608	42.3	-	55,608	-	-	2

(15) 結核予防啓発活動実施状況

表1-(15) 結核予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	形 態	テ ー マ	実施対象	参加人数 (人)
平成30年 9月27日	-	メール FAX	結核予防週間	いちうら感染症 情報登録機関	238
平成30年 10月12日	市川保健所	講演会	高齢者福祉施設における結核対 策について	高齢者福祉入所 施設	50

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2- (1) 1類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
平成30年	-	-	-

(2) 2類感染症発生状況 (結核は除く)

表2- (2) 2類感染症発生状況 (発生届受理数) 単位:人

年	疾患名	人数	市町村
平成30年	-	-	-

(3) 3類感染症発生状況

表2- (3) 3類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

病類 年・市町村	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性	腸チフス	パラチフス
				大腸菌 感染症		
平成28年	61	-	3	58	-	-
平成29年	21	-	-	21	-	-
平成30年	16	-	2	14	-	-
市川市	9	-	1	8	-	-
浦安市	2	-	1	1	-	-
その他 (管外)	5	-	-	5	-	-

(4) 4類感染症発生状況

表2-(4) 4類感染症病発生状況(発生届受理数)

(単位:人)

疾患名	平成28年	平成29年	平成30年
1 E型肝炎	2	1	4
2 ウエストナイル熱	-	-	-
3 A型肝炎	1	6	9
4 エキノコックス症	-	-	-
5 黄熱	-	-	-
6 オウム病	-	-	-
7 オムスク出血熱	-	-	-
8 回帰熱	-	-	-
9 キャサヌル森林病	-	-	-
10 Q熱	-	-	-
11 狂犬病	-	-	-
12 コクシジオイデス症	-	-	-
13 サル痘	-	-	-
14 ジカウイルス感染症	-	1	-
15 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフ レボウイルス属SFTSウイルスであ るものに限る。)	-	-	-
16 腎症候性出血熱	-	-	-
17 西部ウマ脳炎	-	-	-
18 ダニ媒介脳炎	-	-	-
19 炭疽	-	-	-
20 チグングニア熱	-	-	-
21 つつが虫病	-	-	-
22 デング熱	2	3	1
23 東部ウマ脳炎	-	-	-
24 鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9)を除く)	-	-	-
25 ニパウイルス感染症	-	-	-
26 日本紅斑熱	-	-	-
27 日本脳炎	-	-	-
28 ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
29 Bウイルス病	-	-	-
30 鼻疽	-	-	-
31 ブルセラ症	-	-	-
32 ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
33 ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
34 発しんチフス	-	-	-
35 ボツリヌス症	-	-	-
36 マラリア	1	1	1
37 野兔病	-	-	-
38 ライム病	-	-	-
39 リッサウイルス感染症	-	-	-
40 リフトバレー熱	-	-	-
41 類鼻疽	-	-	-
42 レジオネラ症	6	8	3
43 レプトスピラ症	-	-	-
44 ロッキー山紅斑熱	-	-	-

※14の疾患は平成28年2月から届出の対象となった。

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況(発生届受理数)

(単位:人)

疾患名		平成28年	平成29年	平成30年
1	アメーバ赤痢	7	4	7
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	-	5	7
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5	1	3
4	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	-	-	-
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	11	9	6
6	クリプトスポリジウム症	-	-	-
7	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	-	1
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	5	3
9	後天性免疫不全症候群	4	18	14
10	ジアルジア症	-	-	-
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	-	3
12	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	1	-
13	侵襲性肺炎球菌感染症	21	21	18
14	水痘(入院例に限る。)	-	1	8
15	先天性風しん症候群	-	-	-
16	梅毒	16	15	23
17	播種性クリプトコックス症	-	1	-
18	破傷風	1	1	-
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	1	2
21	百日咳	-	-	51
22	風しん	1	1	40
23	麻しん	4	-	-
24	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	1	-

※ 4の疾患は平成30年5月から届出の対象となった。

※ 21の疾患は平成30年1月から届出の対象となった。

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数 (単位:箇所)

インフルエンザ	小 児 科	眼 科	性 感 染 症	基 幹	疑 似 症
19	12	3	4	-	35

b 定点把握対象疾患

表2-(5)-イ-(ア)-b 定点把握対象疾患状況 (単位:人)

疾患名	平成28年	平成29年	平成30年
1 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	5,100	6,108	6,013
2 RSウイルス感染症	284	366	413
3 咽頭結膜熱	238	469	293
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	942	779	1,186
5 感染性胃腸炎	3,667	2,890	2,586
6 水痘	250	285	223
7 手足口病	294	1,005	317
8 伝染性紅斑	90	53	126
9 突発性発しん	279	283	244
10 ヘルパンギーナ	488	447	294
11 流行性耳下腺炎	214	121	34
12 急性出血性結膜炎	6	7	10
13 流行性角結膜炎	49	132	103
14 性器クラミジア感染症	92	92	107
15 性器ヘルペスウイルス感染症	51	67	62
16 尖圭コンジローマ	22	20	14
17 淋菌感染症	39	35	38
18 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	.	.	.
19 クラミジア肺炎(オウム病を除く)	.	.	.
20 細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	.	.	.
21 マイコプラズマ肺炎	.	.	.
22 無菌性髄膜炎	.	.	.
23 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	.	.	.
24 メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染症	.	.	.
25 薬剤耐性緑膿菌感染症	.	.	.

(記載 . について:管内に指定の定点医療機関がないため、計上していない)

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	2	-	・	・
検体提供数 (件)	16	-	・	・

(記載 ・ について：管内に指定の定点医療機関がないため、計上していない)

(6) その他

表 2 - (6) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位：件)

年度 区分	届 出 施設数	届 出 患者数	措 置			
			学 級 閉鎖数	学 年 閉鎖数	休校数	その他
平成 28 年度	210	3,378	203	213	-	-
平成 29 年度	314	3,760	306	7	1	-
平成 30 年度	218	3,270	202	16	-	-
幼 稚 園	35	275	31	4	-	-
小 学 校	137	2,357	128	9	-	-
中 学 校	37	577	34	3	-	-
高等学校	-	-	-	-	-	-
そ の 他	9	61	9	0	-	-

(7) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表 2 - (7) - ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度	病 類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 30 年度		-	-	-

イ 2類感染症

表 2 - (7) - イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況 (結核は除く)

年度	病 類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 30 年度		-	-	-

ウ 3類感染症

表2-(7)-ウ 3類感染症発生に伴う患者健康調査及び検便実施状況
(単位：調査(人)，検便(件))

病類 年度	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌 感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
平成28年度	359	237	-	-	7	7	352	230	-	-	-	-	25
平成29年度	24	31	-	-	-	-	24	31	-	-	-	-	1
平成30年度	18	29	-	-	2	3	16	26	-	-	-	-	3

エ 4類感染症

表2-(7)-エ 4類感染症患者健康調査状況 (単位：調査(人)、件数(件))

区分	疾患名	調査
平成30年度	E型肝炎	4(4)
	A型肝炎	9(9)
	ジカウイルス感染症疑い	1(1)
	デング熱・デング熱疑い	6(4)
	チクングニア	1(1)
	日本紅斑熱	1(1)
	レジオネラ症	6(4)

オ 5類感染症

表2-(7)-オ 5類感染症患者健康調査状況 (単位：調査(人)、件数(件))

区分	疾患名	調査
平成30年度	感染性胃腸炎	764(26)
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレーの熱を除く)	7(7)
	麻しん・麻しん疑い	198(44)
	風しん・風しん疑い	738(115)
	インフルエンザ	923(53)

(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表2-（8） 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

（単位：調査（人））

区分 年度	総 数	管外での感染症 発生に伴う調査数 （検疫通報除く）	検疫通報に伴う 接触者及び同行者 調査数	検便実施者数 （件）	検 出 菌（件）			
					コレ ラ	赤 痢	○ 157	そ の 他
平成28年度	23	23	-	13	-	-	-	-
平成29年度	15	15	-	3	-	-	1	-
平成30年度	43	1,211	-	10	-	-	-	-

(9) 衛生研究所への検査依頼数

表2-（9） 衛生研究所への検査依頼数 （単位：件）

分	疾 患 名	結 果		計
		陽 性	陰 性	
平成30年度	ジカウイルス感染症	-	1	1
	デング熱	-	1	1
	麻しん	2	34	36
	風しん	37	49	86

(10) 就業制限通知数（結核を除く）

表2-（10） 就業制限通知数 （単位：件）

区分 年度	疾 患 名		計
	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	
平成28年度	2	58	60
平成29年度	-	23	23
平成30年度	-	21	21

(11) 感染症予防啓発活動実施状況

表2-(11)-ア 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	実施対象	参加人数 (人)
平成30年 5月17日	浦安市 文化会館	平成30年度 浦安市学校保健会全体研修会 「市川保健所管内感染症発生状況」	浦安市学 校保健会	50
平成30年 10月12日	市川健康福祉 センター	「平成30年度 高齢者入所施設における感染症 対策研修会」	高齢者 入所施設 職員等	50

イ 院内感染対策に関する指導

医療施設立入検査18施設の際に、院内感染のための指針や院内感染対策委員会の設置、研修会の実施、院内感染対策マニュアルの整備等に関し院内感染対策の視点から検査・指導を実施した。

ウ 社会福祉施設・学校等への感染対策の指導

介護老人保健施設2施設に対し、監査指導課に随行し、感染症対策に関して実地指導を行った。また、感染症発生時には、随時疫学調査及び感染拡大防止策のための指導を実施した。

(12) 市川保健所版感染症情報共有ネットワークシステム「いちうら」

関係機関に対し、迅速で正確な感染症情報を提供することにより、各機関と保健所の連携を円滑にし、平常時の感染症予防策を図るとともに発生時の速やかな対策に役立てるために、『市川保健所版感染症情報共有ネットワークシステム』を構築し、平成22年9月から運用を開始した。ネットワークシステム登録者（医師会・医療機関・市・社会福祉施設等の関係機関等）に対し、感染症に関する情報を毎週1回定期的に一斉配信、また、アラート情報として麻疹患者発生時やエボラに関し情報共有のため計4回臨時に配信した。当初の登録機関は93件であったが、周知啓発により平成30年度末には205件の登録となった。

(13) 感染症健康危機管理事業

表2-(13)-ア 地域健康危機管理推進会議開催状況

開催日	参加人数 (人)	主な内容
平成30年 8月24日	23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型インフルエンザ等発生時の医療体制と各機関の役割確認 ・ 新型インフルエンザ等緊急対応訓練について

表2-(13)-イ 新型インフルエンザ等対策講演会

実施日	場所	テーマ	対象	参加人数 (人)
平成30年 8月24日	市川健康福祉 センター	「平成30年度 新型インフルエンザ等講演会」	地域健康 危機管理 推進会議 構成団体 医療機関	35

表2-(13)-ウ 新型インフルエンザ等訓練、その他の会議

開催日	参加人数 (人)	主な内容
平成30年 10月24日	55	新型インフルエンザ等緊急情報伝達訓練
平成31年 2月8日	7	新型インフルエンザ等検体移送訓練
平成31年 2月13日	16	新型インフルエンザ等患者搬送訓練

3 エイズ対策事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数 (人)
平成30年 5月17日	浦安市 文化会館	講演会	浦安市学校保健会 総会にて HIV や性 感染症の発生動向 について	浦安市立小 中学校養護 教諭等	50
平成30年 7月23日	市川市 教育会館	講演会	「エイズ・性感染 症の現状と予防～ 感染者とも共生す る社会を目指して ～」	市川市立小 中学校養護 教諭等	62

イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表3-(1)-イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
平成30年 11月30日	世界エイズデーにおける街頭啓発活動の実施 (JR 総武線「本八幡駅」にてキャンペーンチラシ、ポケットティッシュの配付)

(2) エイズ相談受付状況

表3-(2) エイズ相談受付状況 (単位：件)

年度	性別	相談方法				合計
			男	女	小計	
平成28年度		電話相談	12	9	21	412
		来所相談	260	131	391	
		その他	-	-	-	
平成29年度		電話相談	2	1	3	344
		来所相談	232	109	341	
		その他	-	-	-	
平成30年度		電話相談	2	-	2	345
		来所相談	215	128	343	
		その他	-	-	-	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況 (単位:件)

年度 年齢階級		性別		合計	外国籍 者数(再)	確認検査 件数
		男	女			
平成28年度		256	129	385	6	1
平成29年度		231	108	339	4	1
平成30年度		215	128	343	10	2
年 階 級	～19歳	3	2	5	-	-
	20歳～29歳	51	55	106	6	2
	30歳～39歳	61	41	102	1	-
	40歳～49歳	65	21	86	3	-
	50歳～59歳	16	7	23	-	-
	60歳～	19	2	21	-	-
	不明	-	-	-	-	-

表3-(3)-イ 性感染症・肝炎検査受付状況 (単位:件)

検査 性別	クラミジア検査			梅毒検査			肝炎検査					
							C型肝炎検査			B型肝炎検査		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成28年度	341	235	106	373	248	125	375	250	125	375	249	126
平成29年度	319	222	97	329	224	105	338	226	112	335	224	111
平成30年度	314	200	114	335	206	129	346	210	136	347	211	136

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施

4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

(1) 被爆者手帳交付状況

表4-(1) 被爆者手帳交付状況 (単位：件)

年度 市町村	区分	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
平成28年度		252 (3)	-	3	-	12	243 (4)
平成29年度		243 (4)	-	1	2	9	233 (8)
平成30年度		233 (8)	1	2	3	8	225 (7)
市川市		146 (6)	1	-	1	6	140 (4)
浦安市		87 (2)	-	2	2	2	85 (3)

(注) () は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表4-(2) 被爆者健康診断実施状況 (単位：人)

年度	施設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
平成28年度	保健所	前期	237	26	11.0	25
		後期	249	27	10.8	24
	委託医療機関		493	17	-	9
平成29年度	保健所	前期	239	22	9.2	20
		後期	231	23	10.0	22
	委託医療機関		217	20	-	6
平成30年度	保健所	前期	222	23	10.3	21
		後期	224	23	10.2	23
	委託医療機関		538	10	-	7

(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況

表4-(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況 (単位：件)

区分	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総数		196	188	195
医療特別手当		14	14	19
特別手当		-	1	1
原子爆弾小頭症手当		-	-	-
健康管理手当		154	149	150
保健手当		16	16	17
介護手当		1	1	1
葬祭料		11	7	7
健康手当		168	164	168

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。